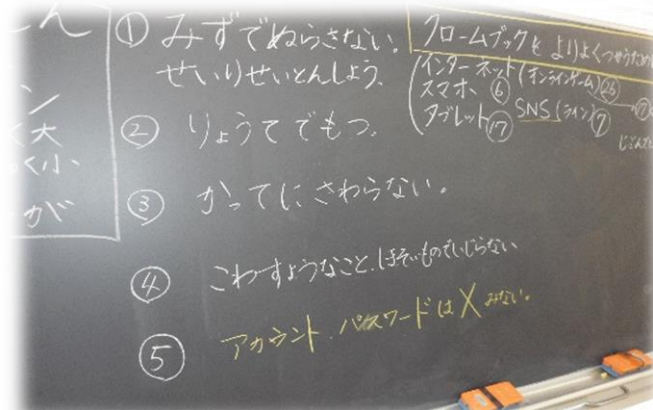


9月の重点教育目標 『心豊かで思いやりのある子』

【 わたしたちの じょうほうモラル 】

先日の道徳授業地区公開講座では、命についてみんなで考え、「命は一つしかない大切なもの」「自分も友達も大切にしなければいけない」という思いが高まりました。

近年増えているSNSによるトラブルなど、子どもたちにとって身近な問題となっています。Chromebook が全児童に配布され、使用場面が増える中で、子どもたちの情報モラルが問われています。より良い学習ツールの一つとして安全に使用していくために、Chromebook のSNS などを使用する上での基本的なルールについて授業で取り上げ、子どもたちと一緒に考えました。オンラインゲームやYouTube を含め、多くの児童がインターネットを使用していることがわかりました。何気なく行ってしまいそうな行動(友達のアカウントを見る、動画で個人が特定できるものを撮るなど)が、他人を傷つけてしまうことに気が付き、驚いている児童もいました。今後も定期的に規範意識を高められるようにしていきたいと思えます。



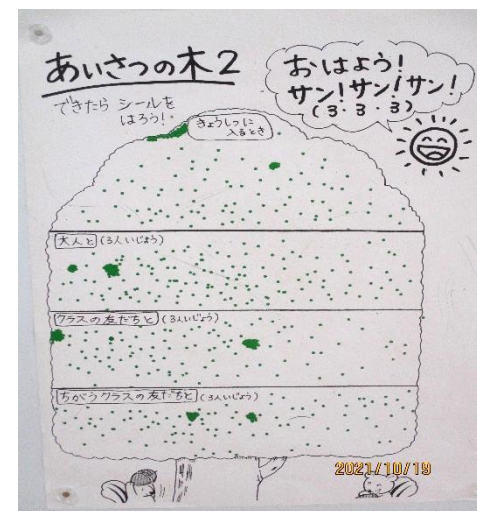
先月の重点教育目標 『心豊かで思いやりのある子』

【 あいさつの木2 】

1学期に引き続き、「あいさつの木」に取り組んでいます。
2学期は、「おはよう！サン！サン！サン！（3・3・3）」
というあいさつの木です。朝のあいさつ「おはよう！」を、

- ・教室に入るとき
- ・大人と3人以上
- ・クラスの友達と3人以上
- ・違うクラスの友達と3人以上

言えることを目標にして、できたらシールを貼っています。



自分から「おはよう！」を言ったり、友達に言われたら「おはよう！」を返したりする姿が以前より増えてきています。家を出る前にも、家の人にさわやかな「おはよう！」が言えているとよいですね。相手を意識してあいさつを続けてほしいと願っています。



9月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

【やさしい人大作戦】

1学期に学習した「やさしい人大作戦」という道徳の学習をきっかけに、「自分が友達に親切にしたこと」や、「友達から自分が親切にしてもらったこと」を付箋に書いて教室に掲示する活動に、継続して取り組んでいます。

自分の名前が書かれている付箋のメッセージを、少し照れながらも嬉しそうにじっと見つめている微笑ましい姿も見られます。友達から当たり前のように親切にしてもらっていることが、実はとても素晴らしいことであることに気づき感謝の気持ちをもったり、自分が友達にしていることが友達にとってはとても役に立つことで喜ばれていることに気付いたりすることにつながってきました。これからも、お互いを思いやる優しい気持ちを育てていきます。



9月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

【ふれあい広場にあつまれ】

立川市には、「立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」という条例があるのをご存じでしょうか。2学期の総合的な学習の時間に、「ふれあい広場にあつまれ」という単元を設定し、誰もが暮らしやすい街にするために、障害や障害のある人に対する理解を深める学習をします。

まず、立川市が作成している「みんなの笑顔」という条例ガイドブックを基に、障害のある人がどのようなことで困るかを考えたり、どのような対応が考えられるかを話し合ったりしました。まちの中には、スロープがあったり点字ブロックがあったり様々な工夫がされていること、しかし、それでも困りそうな場面は多くあることに気付きました。障害のある人が暮らしやすいまちは多くの人が暮らしやすいまちだということも分かりました。

今後、さらに詳しく知りたいこと、考えたいことについて個人やグループで調べてまとめます。障害や障害のある人に対する理解を深めることで、自分にできることを考えていきます。



9月の重点教育目標 『心豊かで思いやりのある子』

【 わたしたちの情報モラル 】

子どもたちはクロームブックの使い方にも慣れ、授業の調べものや話し合い活動、運動会練習等、様々な場面で活用しています。しかし慣れてきた気の緩みからか、ふざけて書き込みをしたり、学習に関係のないウェブサイトにアクセスしたり、ルールを守らない行動も見られます。そこで、各クラスで改めてクロームブックの基本的な使い方、マナーを確認しました。

その後、NHK for school のスマホリアルストーリー「たった一言のちがいが…」を視聴し、グループごとに問題点や解決策を話し合いました。「日頃から、言葉の選び方に気を付けよう。」「相手の気持ちを考えて伝えよう。」等、自分たちのこととして考え、相手を思いやる発言がありました。

今後も、あれもダメ、これもダメ、と一方的に禁止するのではなく、具体的な事例を通してなぜダメなのかをみんなで考えたり、ルールを自分たちで考えたり、自分事として捉え、主体的に考え、活用していけるよう指導していきます。



9月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

【 考え議論する道徳の授業 ～生命尊重・誠実～ 】

道徳授業地区公開講座の授業では、各クラスで「本当に命の重さは皆同じなのか？」というテーマのもと命の大切さについて考えました。子どもたちは悩みながら「生まれた命は同じだけど、世の中は弱肉強食だから同じじゃないのかもしれない。」「人間が生きるために失っている命もある。」など自分の言葉で話していました。

9月には、6年生の校内研究授業も行いました。自分にとっての誠実さとは何かについて考えました。教材文の「手品師」を読む中で、男の子との約束と夢だった大劇場で手品をするという二つの選択を子どもたちにも問いました。違った立場の考えをもつ仲間と話し合う中で、どちらに行動しても、それは「誠実な行動だ」と、どのクラスの子どもたちも話していました。最後にもう一度自分にとっての誠実さとは何かと問うと、「自分の正しいと思ったことをやることが自分にとっての誠実さ。」「思いやりをもって行動すること。それは、相手に尽くすこと。そして自分が決心した道を行くこと。」と誠実さは相手だけでなく、自分に対して誠実であることだと授業を通して考えを深めていました。

今後も、子どもたちが本音で話し、相手の気持ちを分かろうとする道徳の授業を目指していきます。



9月の重点教育目標『心豊かで思いやりのある子』

はたらく消防写生会の表彰を行いました！



4月に実施した「はたらく消防写生会」で入選した児童をはじめ、参加児童に賞品が届きました。さらに、入選以上の児童には表彰状も送られました。あおぞら学級ではミニ表彰式を行い、入選作品の紹介と表彰状の授与を行いました。友達の作品を見て「はしごが上手！」「大きくてかっこいい！」など友達の作品の良い所を伝えたり、あたたかな拍手でお祝いしたりしていました！

2学期の図書は、柴崎図書館で本を借りています！

2学期から、図書の時間に柴崎図書館で本を借り、教室に持ち帰って読むようになりました。本を選び、カウンターに持っていき、カバンにしまってから出る等、一つ一つ図書館の利用方法が身につけてきています。その他にも、歩道の安全な歩き方をはじめ、「静かに過ごす」「時間を守る」等の公共施設でのマナーも学んでいます！

